

図書館だより

2014年 4月 1 日発行



かねこ はるな
金子 春菜さんの作品 (平成 25 年度市長賞受賞・浅羽野小学校 5 年)

私は読書をする時、本の世界に入り込んだようで、とても楽しいです。この絵は、私が図書館という空想の森へ行って本を読んでいたら、不思議な動物たちが、「何を読んでいるの?」と集まってきた所を表現しています。

第 174 号

坂戸市立図書館



日本探訪



今年はシリーズ（全4回）で日本全国（東西南北）をめぐり、観光・祭り・郷土の味・県出身の有名人など紹介していきたいと思います。

第1回は北海道・東北地方です。



観光☆北海道☆ 雄大な自然にいきづく祭りと花々

さくら旅

ピート小林／写真：文
北海道新聞

さあ、北の桜を愛でる旅に出かけよう！

道南・中央・日高など8つのエリアに分けて北海道各地のお花見スポットを美しい写真と文で紹介。



バスで旅する北海道

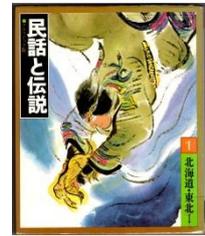
エムジー・コーポレーション

手軽な料金で日帰りから宿泊まで、さまざまな旅を楽しむことができる、バスツアー。実際バスに乗っての体験、富良野・知床・函館など12の魅力的なバスツアーを掲載。



民話と伝説 1

北海道、東北編 学研



今も語り継がれている話。アイヌの生活を通し受け継がれている祭り、儀式をとりあげて以下に紹介します。

まりも祭り

☆ 阿寒湖 ☆ 10月中旬
まりもの永遠を祈り神々に感謝する祭り
アイヌの人たちの神秘的で古式豊かな儀式



オロチョンの火祭り

☆ 網走市 ☆ 7月下旬

先人である北方系民族の供養を目的とした風俗習慣を伝える伝統芸能。



オロチョンの火祭り
詞：石本美由起/曲：上原げんと

タツカル オーヌグ
ブガコングワー
ツグフグシ イツトル
ゼンニヨイラー
(アイヤアイヤアイヤ
アイヤアイヤ)
アイヤサー アイヤサー
オタスの柱に

きょうこく 峽谷火まつり

☆ 層雲峡 ☆ 7月下旬

峽谷のいで湯を清め五穀豊穡を祈る祭り。
アイヌの祭り 守り神シマフクロウを神の国へ送り出す儀式。



陽は落ちて
河の流れに 冴える月

郷土の味 ☆秋田☆



昔から土地の人に愛され受け継がれた味

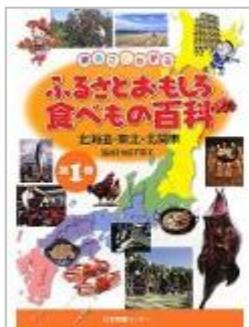


ふるさとおもしろ食べもの百科

第1巻

向笠千恵子/監修 日本図書センター

農作物、魚介類、畜産物などの食材や、加工品、郷土料理など代表的な食べもの紹介。またその食べものにまつわる歴史や人物など、食に関する文化についても解説。



きりたんぼ鍋の作り方

材料 (4人分)

(きりたんぼ 4~6本)

米	2合
鶏もも肉	200g
ごぼう	120g
たけのこ	120g
白ねぎ	120g
まいたけ	1パック
セリ	1束
白滝	1袋
合わせだし	
チキンブイヨン	1個
酒	大3
みりん	大1
しょうゆ	大2
水	800ml
柑橘汁	大2
一味唐辛子	適量
杉の串	4~6本

作り方

- 1 ご飯を少し固めに炊き、すりこぎでこねるようにつく。秋田杉の串に手で伸ばしながらつける。きつね色になるくらい焼き、二つぐらいに切る。
 - 2 鶏肉はひと口大、野菜と白滝は食べやすい大きさに切る。
 - 3 鍋に合わせだしを入れ、煮立ってきたらごぼうと鶏肉を加える。再び煮立ったら他の具を加える。きりたんぼを適当な大きさに切り入れ、2~3分煮込み、長ねぎを入れる。
 - 4 取り鉢に煮えた具と煮汁を取り、好みで柑橘汁、一味唐辛子をふりかけていただく。
- ※きりたんぼは早く入れると、煮崩れするので注意。



聞き書 ふるさとの家庭料理 18

日本の朝ごはん

農山漁村文化協会

生まれ育った土地ふるさと。人はだれもふるさとをもっています。各家庭に淡々と受け継がれてきた、伝統の朝ごはんの数々。



「食べて地域探検1」

米・麦の郷土料理

服部幸応/監修・著 服部津貴子/監修・著 岩崎書店

食で地域探検、地域の人々とのくらしと深くかかわっている郷土の味。日本の風土・歴史などの影響を受けてきた郷土料理。米・麦を中心にした郷土料理を紹介。



和菓子風土記(別冊太陽)

鈴木晋一/監修 平凡社

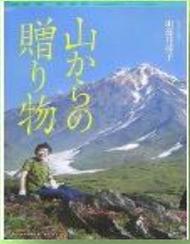
日本全国津々浦々に昔から伝わる和菓子。こだわりの素材、土地の歴史、文化が垣間見える。目にも口にもおいしい和菓子



郷土が生んだ有名人

☆ 福島県出身 田部井淳子 (登山家)

山からの贈り物



角川学芸出版
病弱だった著者がいつしか山に魅せられ世界の山々を歩きだした。山との出会いから広がる自然や人とのつきあい。人生をもっと豊かに楽しくすごしたい人に贈る。

☆ 宮城県出身 俵 万智 (歌人)

百人一酒



文芸春秋
ぜいたくなお酒から一品100円の居酒屋、コーヒー、焼酎に象鼻杯一。3歳で味を覚え、ついにお店を手伝うに至った著者の爽快痛飲エッセイ。

☆ 山形県出身 藤沢 周平 (作家)

乳のごとき故郷

ふるさとを描いた随想を集成。懐かしくも遠くなりゆく風景。生まれ育った庄内のこと、少年時代の記憶、忘れがたき人々への思いなどを綴った心にしみ入る全四十六篇。

文芸春秋



☆ 岩手県出身 茂市 久美子 (童話作家)

おひさまやのめざましどけい

よしざわ けいこ/絵

講談社

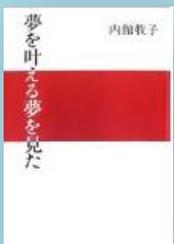
朝なかなか起きられない小学1年生のひろしは、うさぎのお店「おひさまや」で、魔法の目覚まし時計をすすめられ・・・。



☆ 秋田県出身 内館牧子 (作家)

夢を叶える夢を見た

幻冬舎



「何とか人生を変えたい」「このままでは生まれてきた甲斐がない」「今の仕事を辞め、新しい世界に飛ぼうか、飛ぶまいか」と悩んでいる男女に贈る。

☆ 青森県出身 三浦雄一郎 (プロスキーヤー)

歩けば歩くほど人は若返る

小学館



超ゲンキな80歳!の秘密は若返りホルモンを出す「ミウラ式ウォーキング術」にあった。メタボでズボラな冒険家を復活させた。

☆ 北海道出身 熊川 哲也 (バレエダンサー)

メイドイン・ロンドン

文芸春秋

バレエが僕をえらんだ。10歳でバレエを始め、15歳で単身渡英。わずか五年でトップダンサーとなった著者初の自伝。バレエ案内他、撮り下ろし写真も多数収録。

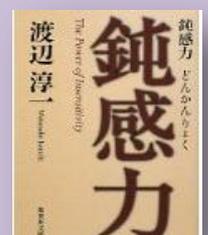


☆ 北海道出身 渡辺 淳一 (作家)

鈍 感 力

集英社

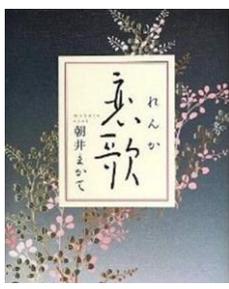
厳しい時代を生き抜く「鈍感力」のすすめ。複雑な現代社会を生き抜くためには著者一流の逆転の発想を、ユーモアをまじえてやさしく説く、人生の処方箋!



訂正版

坂戸市森戸出身の中島歌子が主人公の作品

第150回 直木賞受賞作品 「恋歌」朝井 まかて 著



明治の歌人 中島歌子を描いた歴史小説。

作品は、樋口一葉が輩出した歌塾「萩の会」を主宰する

はなやかな活躍の一方、幕末の騒乱に巻き込まれた女性を

描いた作品です。

中島歌子さんはどんな人



中島 歌子さん

中島歌子は、弘化元年（1844年12月14日）《現代の暦では、1845年1月21日》坂戸市大字森戸の旧家、中島又右衛門・幾子夫妻の長女として生まれた。幼名を「とせ」といい、その後、明治10年（1877年）「うた」（筆名歌子）と改名。

幼き頃、両親とともに江戸にでた。両親は、江戸小石川伝通院水戸藩御用宿『池田屋』に夫婦養子として入り、旅館を営む。歌子は、18歳までこの旅館でくらす。歌子は、18歳で水戸藩士、林忠左衛門と結婚した。夫は、水戸藩に属し、天狗党の一員として活躍したが、負傷しとられの身となり、1865年に幽死した。歌子は、その後、1866年（明治元年）に明治維新後、東京にもどり、小石川水道町の安藤坂中程に屋敷を構え桂園派の歌人、加藤千波の弟子となり歌の道に入る。歌子24、25歳頃である。

やがて、1878年（明治10年）頃、歌塾「萩の舎」を開き、上流階級の人々や樋口一葉に歌の指導を行った。

中島 歌子についての資料。2階参考調査室の郷土資料コーナーにあります。（貸出可能もあり。）

- ・中島歌子梓弓の詩（中島歌子を顕彰する会）DVD
- ・郷土出身の歌人 中島歌子資料集（坂戸市教育委員会編集）館内利用 など

朝井 まかて 著 その他の図書



西洋に日本の草花を根付かせたかった。長崎の出島を舞台に、オランダ人の医師。シーボルト仕えた庭師の奮闘物語。



若い頃は「馬喰町の猪鹿蝶」で鳴らした江戸女3人組が、仕事も家庭も捨ておいて、お伊勢参りに繰りだし、道中は、波乱で…。

発行：坂戸市立図書館 坂戸市仲町1-23 ☎049-281-6369

「図書館だより」編集ボランティア